

トホクのマクワウリ栽培方法

発芽適温：25～30℃ 生育適温：20～28℃
 土壌酸度：pH6.0～6.5 連作障害；3～4年あける

1. 作物特性

メロンと同じ仲間ですが、メロンほど糖度は高くないものの自然な甘さと歯ざわりの良さでアマウリなどとも呼ばれて親しまれています。メロンほど栽培は難しくなく、梅雨明けまで病気を出さずに株を作ることがポイントです。つるを伸ばして栽培しますから、ある程度の広さが必要ですが、場所がない場合はプランターを使った立体栽培もお勧めです。

その後子づるの4節目までに発生する孫づるは早めにとり除きます。子づるは10節目で摘心し、孫づるの発生を促します。



孫づるは葉を2枚残して芯を摘みます。

2. 畑の準備

つるを伸ばす方向を決めてうねを作る必要があります。つるを伸ばす場所としてマルチの端から少なくとも3m位確保しておきます



着果したら1株当たり化成肥料30gを追肥します。ソフトボール位の大きさになったら果実マットを下に敷き、地面に直接当たらないようにします。

3. タネまき

発芽温度が比較的高いので暖くなってからタネをまきます。ビニールポットにタネを2～3粒くらいが目安で深さ2cm位の深さにまき、発芽まで乾燥させないようにすることが大切です。本葉が出たらポットに1株に間引きします。



果実の下の部分は光が当たりにくく、果実に色がつきにくいので、10日間隔で果実を少しまわして光が当たるようにすると色だけでなく、果実内部の果肉の色もきれいに着色して味のむらもなくなります。

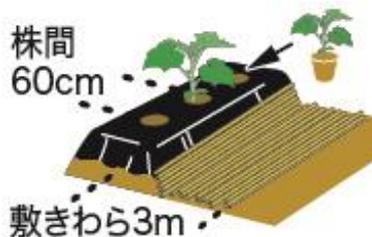


(写真はニューメロン)

マクワウリはメロンほど病気に弱くはありませんが、べと病やうどんこ病が発生します。アブラムシも発生するとウイルス病も発生しますので、定期的に農薬を適切に使って防除します。

4. 植えつけ

本葉3～4枚の苗をうねの中央に植えつけます。株間は60cmが適当です。深植えを避け、根鉢をくずさないように注意して植えます。



天気がよく、風の弱い日に植えつけ、その後しっかりと水をやります。植えつけは遅霜の恐れがなくなってからにしましょう。

6. 収穫



受粉から収穫までは盛夏で約35日前後です。果実から甘い香りがしてきたら収穫します。過熟になると風味も落ちます。収穫後も成熟が進むのでなるべく早く食べましょう。

マクワウリの場合は果実の亀裂が食べ頃サインです。

5. 栽培管理

親づるの葉を5枚残してつる先を摘み、親づるから発生する勢いの良い子づるを3～4本伸ばします。つるがビニールマルチからはみ出るまでに敷きわらなどをします。

栽培例	まく時期												収かく期											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地																								
中間地																								
暖地																								